

第62回 建築生産技術研究発表会を開催しました

戸田建設(株) (社長：今井雅則) は、第62回建築生産技術研究発表会を10月26日(水)に建築会館(東京都港区)にて開催しました。テレビ会議システムにて各支店の会議室や海外も含む拠点作業所を合わせて24地点を中継で結び、会場参加者379名、支店参加者407名、拠点作業所参加者66名、合わせて852名の社員が参加しました。

この発表会は、建築工事統轄部が主催し、本社各部署の施策や、作業所で実施している品質や生産性の向上に向けた取り組みを、全国の作業所に水平展開することを目的として1954年から毎年開催しています。

1. 建築生産技術研究発表会の概要

今回の発表会では、「当社の強みについて考える」、「改めて品質管理を考える」、「生産性No.1への挑戦」、「高度な施工技術への挑戦」と題したセッション毎に計10件のプレゼンテーションと、『育成』を見つめ直し生産システムを変革する」と題したパネルディスカッションが行われ、活発な討論となりました。

さらに、この1年間で生産性向上をはじめとする積極的な取り組みを実施した作業所を全国から選考し、表彰式が大きな拍手の中で行われました。

発表会の冒頭、社長からは『生産性No.1への挑戦』、『高度な施工技術への挑戦』は当社の強靱化のためには不可欠であり、徹底して議論し、推進して欲しい。また、建設を取り巻く状況が変化していく中で、常に『強み』を作り出していかなければならないため、『先(みらい)』を予測し、『今(足元)』何をしなければならぬのかを考え実行して欲しい」との挨拶がありました。

2. 今後の展開

当社では、企業としてまた社会として抱える問題や、新たな技術、今後の目指すべき方向性について、今回のような発表会を通じて全社員が共有することで、今後も一丸となって様々な課題に対して積極的に取り組んでまいります。



写真1 今井社長による挨拶



写真2 優秀作業所表彰式